

世界に名だたる山岳景勝地

北アルプス(蝶ヶ岳・大天井岳・槍ヶ岳・穂高岳)生物群集保護林

設定目的

上高地^{かみこうち}上流部は、前穂高岳^{まえほだかだけ}、奥穂高岳^{おくほだかだけ}、北穂高岳^{きたほだかだけ}、槍ヶ岳^{やりがたけ}等、我が国有数の峰々が連なり、中部山岳国立公園の核となっているばかりでなく、世界的にも知名度の高い、日本を代表する山岳景勝地です。

この地域の植物群落の保護・管理を図るために、設定しています。

地況・林況

槍ヶ岳から西穂高岳^{にしほだかだけ}までの稜線から梓川までの範囲と、大天井岳から蝶ヶ岳に至る範囲とに位置します。

我が国有数のカールである濁沢カールをはじめとする氷河地形、特徴的な稜線、大小様々な滝など、豊かな自然景観を誇っています。

保護林の下部は、シラビソ、オオシラビソ、コメツガ、トウヒ等から構成される亜高山帯、保護林の上部は、ハイマツ等から構成される高山帯、さらに山頂部は、コマクサ、タカネスミレ等から構成される高山植物群落があります。



所在地
長野県松本市、安曇野市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。